

大阪北部地震を教訓に 防災を学ぶ

6月16日、「ひらかた防災学
校」が市民会館で開催された。
東日本大震災の支援活動を契
機に、今回で9回目。市とひら
かた市民活動支援センターの
共催で続いている。今回は「学



水害避難体験

んでまもうろう わが身わがま
ちをテーマに、支援センター
利用団体が自助、共助への取
り組みを各団体の出展ブース
で発表。市民目線で「見せて、
体験して、学んで」と、防災や
ボランティアに取り組むNP
Oや市民活動団体が一堂に会
した。昨年は、枚方市が被災地
となった大阪北部地震、大雨、
台風と災害が続き、各団体と
もいざという時に、という
役割ができるのかを見直した
ようだ。

本館1階は、「子育てママの
ための防災ひろば」として開
放され、「被災地のママから学
ぶ災害の備え」や、「(社)ス
マートサプライビジョン」の
もんまゆ特別講師による災害
のメカニズムを知り、地域を

知り、備えることなど「子ども
の命を守るママになろう」
という講演があった。また、小
学生たち対象に「非常持出し
シミュレーション」防災グッ
ズづくり体験もあり、子ども
もともに学んだ。災害時を想
定して日頃から活動している
団体の発表ブースでは、昨年
の被災経験を教訓に、市民の
関心の深さが伺えた。市主催
の「ひこ防」や消防訓練、救
護訓練など、防災関連イベン
トも同時開催され、通りが
がった市民の防災意識も高ま
るようであった。



大ホールロビー入口